

無料クーポン券が利用できる検診

対象者は、下記の生年月日の方です。受診時に、クーポン券またはがん検診受診券をご提示ください。

	対象者	案内方法
子宮頸がん検診(女性のみ)	平成14年4月2日～平成15年4月1日生	別便でクーポン券を郵送します
乳がん検診(女性のみ)	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生	別便でクーポン券を郵送します
肝炎ウイルス検診	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生	がん検診受診券に●印が印字されています。

健康診断Q & A

Q. 「健診」は、ふつうの診療とどう違うのですか？

A. 保険証を使って病気やケガの治療などを受ける一般の保険診療と違い、健診は、特に自覚症状のない「健康」な人を対象に、自分ではわからない異常の早期発見を目的としています。健診は、特定の病気を確定診断するものではありません。健診によって精密検査が必要になった場合は、かかりつけ医に相談したり、専門医を受診しましょう。

Q. 特定健診・胃がん検診・超音波検診前日の食事について、注意することはありますか？

A. 健診前夜の夕食は、午後9時までに済ませ、それ以降（健診当日の朝まで）飲食は避けてください。できるだけアルコールは控えてください。ただし、お水のみは、脱水予防のため、健診当日の朝7時までは摂取可能です。（健診当日の朝はコップ1杯程度まで）

Q. 血液検査をするのですが、どうして空腹でないといけないのでしょうか？

A. 中性脂肪や血糖の数値は、食事により上昇します。メタボリックシンドロームの診断基準であるため、空腹時での検査をお願いします。

Q. 健診当日、いつも飲んでいる薬はどうしたら良いですか？

A. 高血圧治療中の人は、朝コップ1杯のお水で血圧のお薬だけ内服してください。医師の指示により、当日服用する必要性がある場合は、コップ1杯のお水で、朝7時までに飲むようにしてください。糖尿病の薬や粉薬を服用している人は、健診前には飲まないでください。

Q. 「胃部X線(バリウム)検査」と「胃内視(カメラ)鏡検査」の違いは何ですか？

A. 「胃部X線検査」は、発泡剤で胃をふくらませた後、バリウムを飲んで行う検査です。胃の粘膜に付着したバリウムを様々な方向から撮影します。メリットは胃カメラのような苦痛が少ないことです。異常が見つければ、後日改めて「胃内視鏡検査」を受ける必要があるほか、便秘になりやすい、放射線の被曝があるというデメリットもあります。「胃内視鏡検査」は、口または鼻から小型カメラのついたチューブを使って胃の中を直接観察する検査です。胃の粘膜の状態や胃の中の小さな異常を見つけることに有効です。難点は、カメラを挿入するときに苦痛を感じる人が多いことです。50歳以上の人は、「X線検査」か「胃内視鏡検査」のどちらかを選択することができます。「胃内視鏡検査」は2年に1回の検査です。「胃部X線検査」は、40歳以上を対象に毎年実施します。

Q. 健診を受けた後はどうすればいいですか？

A. 健診後約3～4週間で結果通知書を郵送します。大切に保管し、健康管理にお役立てください。健診の結果、精密検査が必要とされた場合は、必ず精密検査を受けましょう。一方、健診で異常がなかった場合でも将来にわたって健康を保証するものではありませんので、ご注意ください。

【健診における個人情報の取り扱いについて】

検診結果や精密検査結果は、検診の精度維持管理のために板野町で管理し統計資料等に使用します。また、検診結果により町から電話や訪問等で連絡を取らせていただくことがあります。受診者のプライバシーが外部に漏れることはありませんのでご了承ください。

お問い合わせ

- がん検診・その他各種検診について
- 国保特定健診・後期高齢者健診について

福祉保健課 健康相談室（町民センター内）電話 672 - 5580
住民課 電話 672 - 5984